Catalyst 2960Xおよび3750Xスイッチ向けCisco IOSのDoS脆弱性

Medium	**アドバイザリーID :** cisco-sa-20170118-catalyst **初公開日 :** 2017-01-18 16:00 **最終更新日 :** 2017-03-03 14:08 **バージョン 1.1 :** Final **CVSSスコア :** 4.7 **回避策 :** Yes **Cisco バグ ID :** CSCva72252	CVE-2017-3803

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco 2960Xおよび3750XスイッチのCisco IOSソフトウェア転送キューの脆弱性により、認証されていない隣接する攻撃者がソフトウェア転送キューでメモリリークを引き起こし、最終的に部分的なサービス妨害(DoS)状態を引き起こす可能性があります。

この脆弱性は、IPv6ネイバー探索(ND)パケットの不適切な処理に起因します。攻撃者は、該当デバイスで処理される多数のIPv6 NDパケットを送信することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。この不正利用により、攻撃者はソフトウェア転送キューでメモリリークを引き起こし、最終的に部分的なDoSサービス状態を引き起こす可能性があります。

この脆弱性に対処する回避策があります。

このアドバイザリは次のリンクで確認できます。
https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20170118-catalyst

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性は、Catalyst 2960Xおよび3750Xスイッチ用のCisco IOSソフトウェアに影響を与えます。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

詳細

特定のIPv6 NDパケットを処理する際に、シスコのスイッチが割り当て済みメモリを解放できず、ソフトウェア転送キューでメモリリークが発生する場合があります。この状態は大量のCPUリソースを消費し、スイッチでのソフトウェア転送を必要とするあらゆる機能のサービス拒否の原因となる可能性があります。

回避策

該当するデバイスでサービスを復元するには、ソフトウェア転送を強制的に行う設定を無効にする必要があります。ただし、メモリを回復するには、スイッチをリロードする必要があります。

修正済みソフトウェア

修正済みソフトウェア リリースの詳細については、本アドバイザリ上部の Cisco Bug ID を参照ください。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際は、Cisco Security Advisories and Alertsページから入手できるシスコ製品のアドバイザリを参照して、侵害の可能性と完全なアップグレードソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center（TAC）もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team（PSIRT）は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20170118-catalyst

改訂履歴

バー	説明	セクショ	ステ	日付

ジョン		ン	ータス	
1.1	シスコでは、Catalyst 2960Xおよび3750Xスイッチ向けCisco IOSのサービス妨害(DoS)の脆弱性に対処する情報を変更するために、このアドバイザリを更新しました。	詳細および回避策	Final	2017年3月3日
1.0	初回公開リリース	-	Final	2017年1月18日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。 本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。 また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。
本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意訳を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。 このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。